



2001年10月06日

VW、米国JDパワー「2001 APEAL Study (自動車魅力番付)」の三部門でトップ

米国の大手調査会社「JDパワー アンド アソシエーツ (本社:アメリカ カリフォルニア州)」が、10月1日発表した、「2001 APEAL Study=2001年度の自動車魅力番付」によると、フォルクスワーゲンの人気モデル3車種が、同リサーチの3部門でそれぞれトップにランキングされている事が明らかになりました。

JDパワー アンド アソシエーツ社は、自動車、IT、金融、トラベル関連、サービス産業などの様々な企業分野において、CS (顧客満足度) に関する調査及び、コンサルティングを専門とする国際的な企業です。今回同社が実施した「2001 APEAL Study」で、「フォルクスワーゲンの各モデルは引き続き良い結果を得ている。ニュービートルは1998年のデビュー以来、毎年コンパクトカークラスのトップとして、そしてジェッタ (ボーラ) はエントリーミッドカーセグメントにおいて、過去3年最高のランクにあり、スポーティーカーセグメントにおいては、ゴルフGTIが最も魅力的なモデルとして輝いた。」と、フォルクスワーゲンの各モデルが得た高い評価実績を伝えています。

今年で6年目となる「2001 APEAL Study」は、110,000人以上の新車オーナーを対象に、購入後90日以内に感じたクルマの善し悪しに付いて実施される満足度調査であり、その調査項目は、スタイリング、エンジン、トランスミッション、快適性、利便性、乗り心地、操縦性、ブレーキ性能、シート、エアコンディショナー、運転席周辺とメーター類及びオーディオなど多岐に渡り、110以上の質問から成っています。

この調査結果は、「品質」、「価格に見合った価値」、「ブランドバリュー」、「クルマ本来の価値」など、クルマに対して厳しい目を持つお客様によって選ばれたフォルクスワーゲンが、まさしく現在、多くの自動車メーカーのベンチマークとなるほどに優れたクルマを続々と送り出し、それが多くのお客様に受け入れられている。という証拠と言えます。また、こうした高い評価については、今年3月、アメリカの消費者団体が実施した「コンシューマー レポート」においても、パサートが「ファミリーサルーンおよびワゴン部門」の“トップ ピック2001”に選出される。という出来事がありました。

このように、「フォルクスワーゲン=国民のクルマ」は、お客様との永年に渡るクルマを通したお付き合いの結果、現在では「質感の高い、価値あるクルマ」へと変化し、常に時代の先端を行くフォルクスワーゲン流のアイディアと先進技術が、惜しみなくそのクルマ造りに注ぎ込まれてきました。特にアメリカにおいては、オリジナル ビートルの時代から受け継がれてきた信頼も加えて、いま、空前のベストセリング メーカーとして、昨年は約57万台を販売。確固たる地位を占めています。私どもフォルクスワーゲンは、今回のアメリカでの受賞もさる事ながら、ここ日本においても、益々多くのお客様から、「優れた品質と、高い価値を作り出す一流のブランド」として、より一層ご認知頂けるよう、日々の努力を重ねて参りたいと思います。